

静岡県の 新型コロナウイルス性肺炎 中等症Ⅱ以上入院患者の状況 (第1回;2023年5月15日~6月18日)



静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課

P1

静岡県 新型コロナウイルス性肺炎 中等症Ⅱ以上入院患者の調査

【背景】 2023年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が五類感染症となり、**新型コロナ感染中の死亡者の迅速な確認が困難**になり、その年代や基礎疾患、主要死因等も把握ができなくなった。
一方で、新型コロナウイルスは**流行している変異株が頻繁に変わる**ので、**その重症化の変化もモニタリング**する必要がある。

【目的】 そこで、新型コロナウイルス性肺炎で中等症Ⅱ以上となった入院患者さんの疫学情報を、個人が特定できない範囲で県内病院から提供していただき、**コロナが重症化する年代、ワクチン接種状況、基礎疾患等を集計・分析し、医療機関への情報提供や県民への注意喚起・接種勧奨**等に役立てる。

【方法】 協力していただける県内病院が、**新型コロナウイルス性肺炎中等症Ⅱ以上の患者さんの年代・性別、接種回数等、基礎疾患等、日常生活自立度**などをグーグル・フォームに入力し、県が定期的に集計・分析し、医療機関へ情報提供・県民へ公表を行う。

P2

新型コロナウイルス感染症の肺炎の重症度分類（医療従事者が判断）

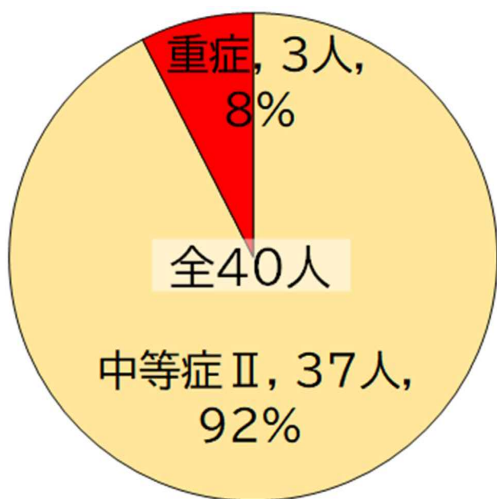
重症度	症状	パルスオキシメータの数値(SpO2)
軽症	呼吸器症状なし または 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合も肺炎所見を認めない	96%以上
中等症Ⅰ	肺炎所見あり 呼吸困難あり	93.1%~ 95.9%
中等症Ⅱ	肺炎所見あり 酸素投与必要	93%以下
重症	人工呼吸器が必要 ICUに入室	

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き・第9.0版 より)

P3

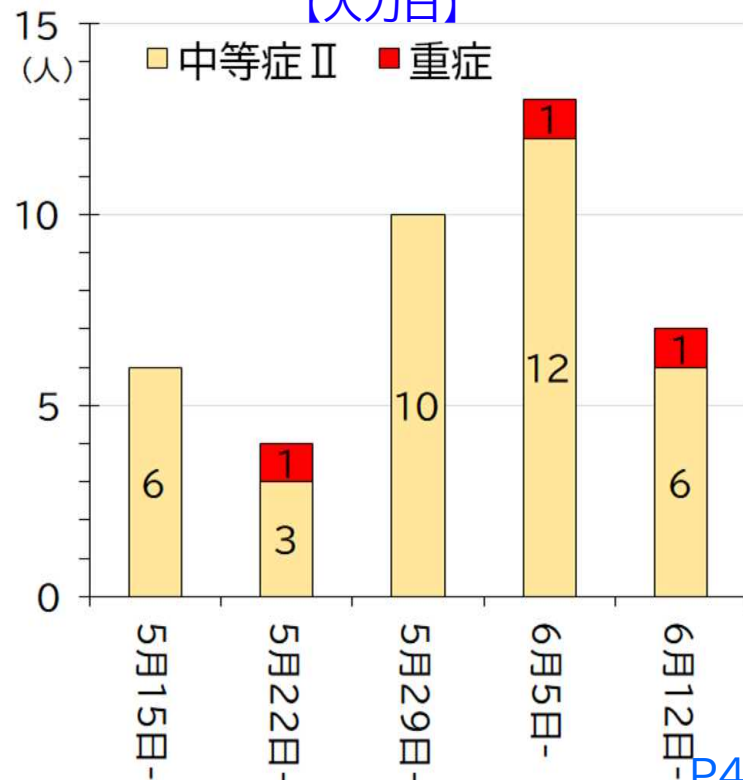
静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 (2023.5/15~6/18) ①中Ⅱ/重・週

【中等症Ⅱと重症の割合】



- 中等症Ⅱが92%と大半を占めた
- 入力していただいた医療機関は15病院
- 6月5日からの週の入力が13人と最多
- この期間の県内の変異株はほぼXBB系統

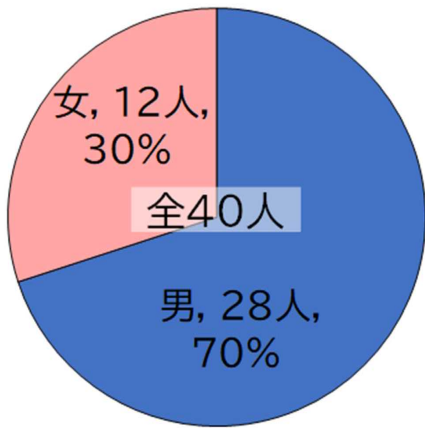
【入力日】



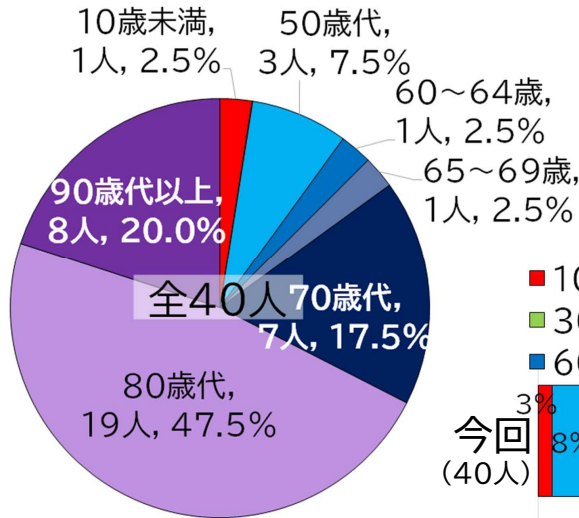
P4

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ②性・年代

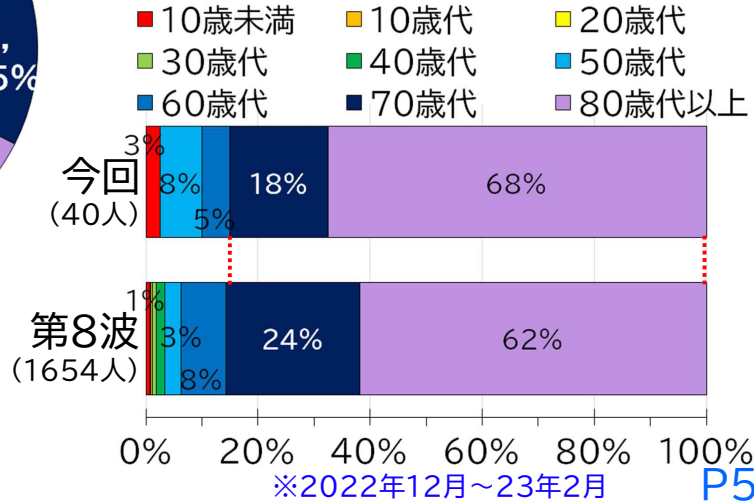
【性別】



【年代分布】



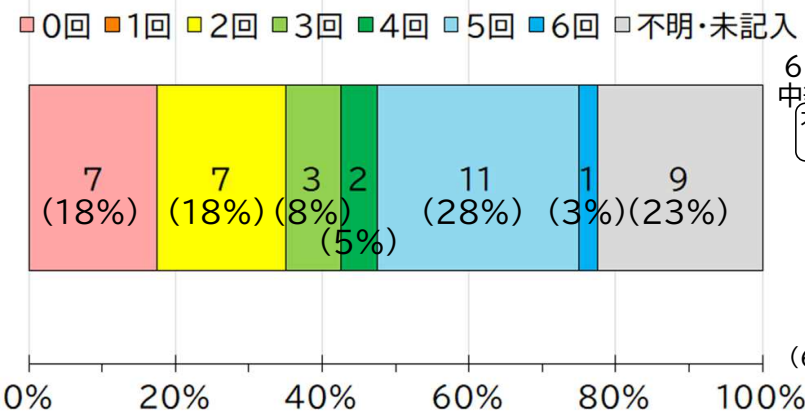
【年代の第8波との比較】



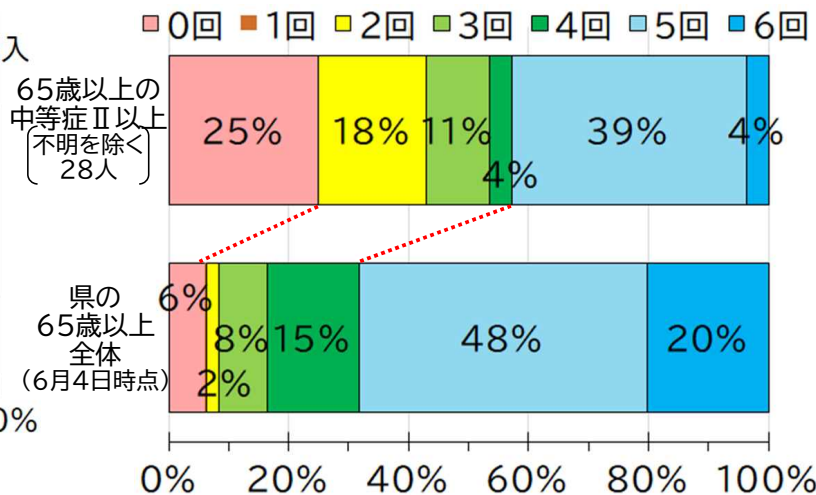
- 男性が7割を占めた(女性:男性=1:2.3)
- 80歳代が最多で約5割を占めた
- 65歳以上が35人で、約9割を占めた
- 第8波時と比べて70歳以上の割合は86%で同じ

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ③接種回数

【全年代の接種回数】



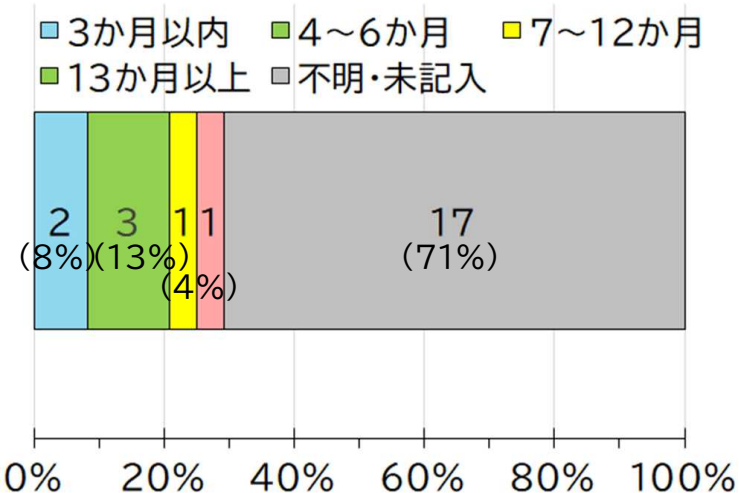
【65歳以上での県民全体との比較】



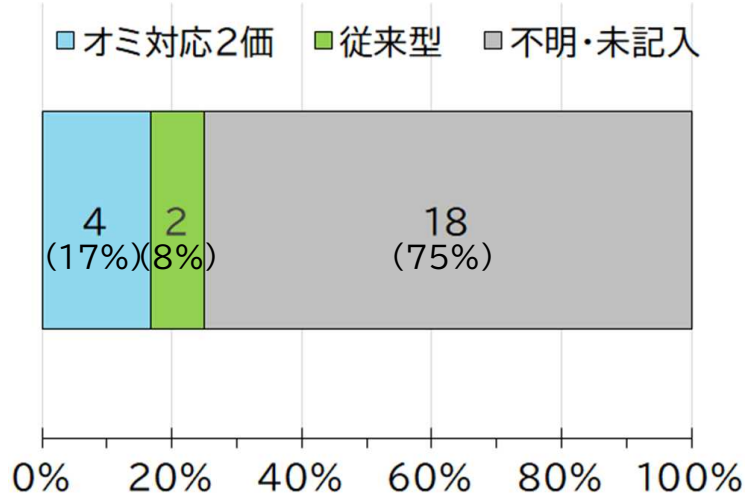
- 接種回数は5回が最多で約3割、次いで0回と2回が多く約2割
- 5,6回接種者12人中、70歳代2人、80歳代7人、90歳以上3人
- 65歳以上の中等症Ⅱ以上の人は、県の65歳以上全体と比べて、未接種者(0回接種)が多く(25%対6%)、5回以上接種者が少ない(43%対68%)

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ④最終接種時期・種類

【最終接種からの期間】



【最終接種ワクチンの種類】

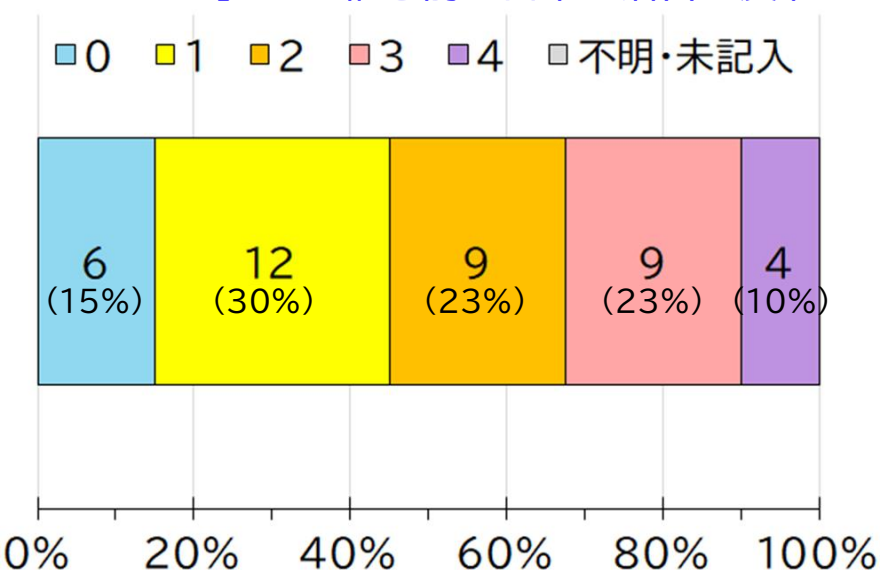


• 不明が多いが、判明している人では、最終接種からの期間は4～6か月が多く、最終接種ワクチンはオミクロン株対応2価ワクチンが多かった

P7

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑤日常生活自立度

【コロナ罹患前の日常生活自立度(パフォーマンス・ステータス;PS)】



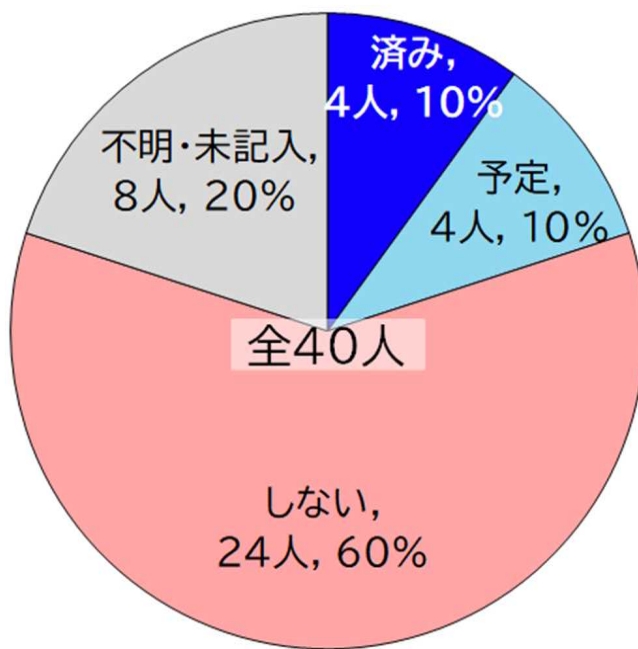
- 0;まったく問題なく活動でき、日常生活が制限なく行える。
- 1;肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。例:軽い家事、事務作業
- 2;歩行可能で、自分の身のまわりのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の50%以上はベッド外で過ごす。
- 3;限られた自分の身のまわりのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
- 4;まったく動けない。自分の身のまわりのことはまったくできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

• 何らかの日常生活の活動制限(PS 1以上)がある人が、85%を占めた

P8

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑥ゲノム解析検体提出

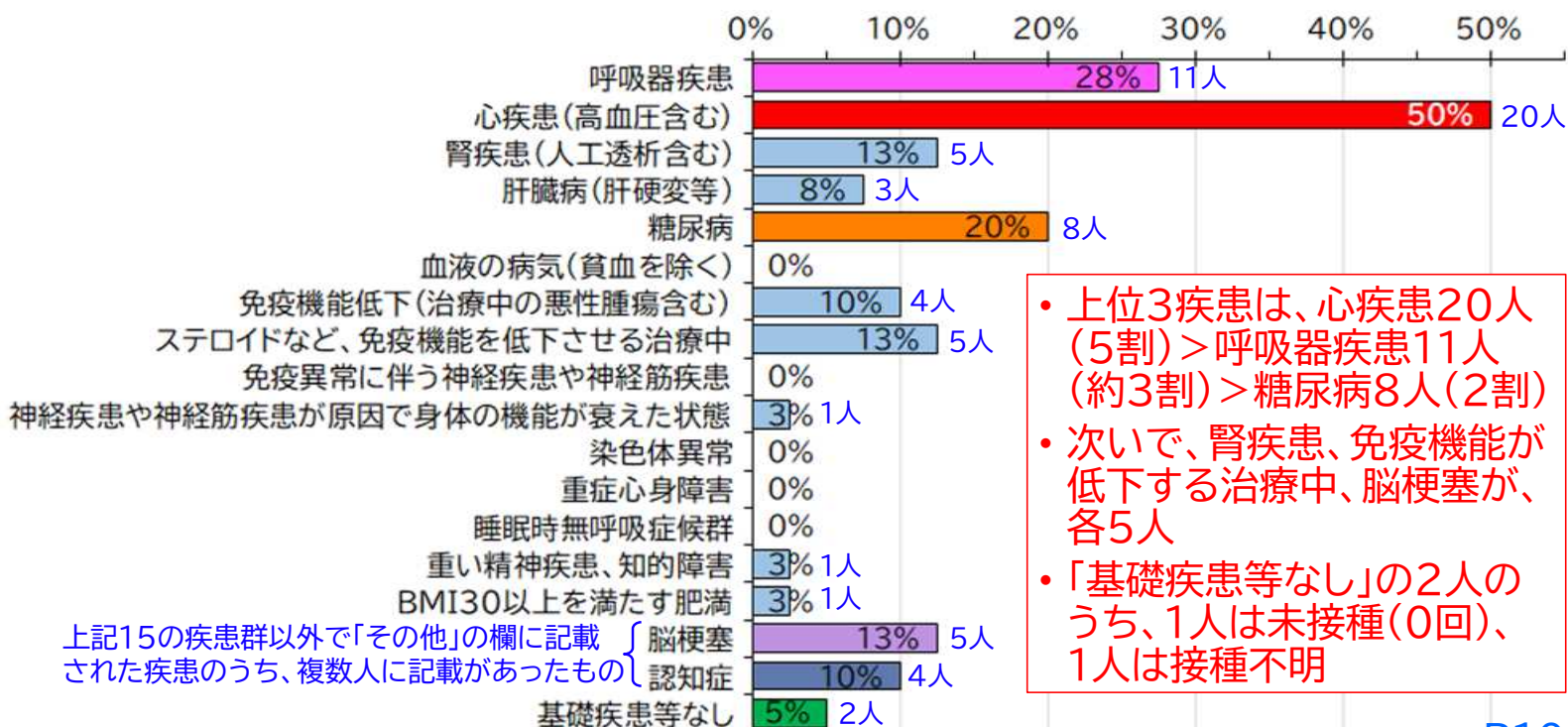
【鼻咽頭拭い液等検体のゲノム解析用提出】



・ 予定も含めてゲノム解析への検体提出は、2割にとどまった

静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑦基礎疾患等重症化リスクの有無

【ワクチン接種が勧奨される基礎疾患等、重症化リスクの状況(複数回答)】



静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 第1回目の結果まとめ

1. 新型コロナウイルス性肺炎で中等症Ⅱ以上の入院患者さんの年代、ワクチン接種状況、基礎疾患等に変化がないか、5類移行後も追跡するため、県内病院の協力を得て、患者個人が特定されない疫学情報を随時収集し、定期的に集計・分析し、医療機関へ還元、県民へ公表する。
2. 第1回の収集期間は5月15日から6月18日の5週間で、15病院から40人の情報提供に協力いただいた。なお、この期間の県内の変異株はほとんどXBB系統であることが分かっている。
3. 40人中、中等症Ⅱ37人・重症3人であり、男性が28人で7割を占めた。年代は80歳代が最多の19人で約5割で、65歳以上が35人で約9割を占め、第8波の年代分布と差は無かった。
4. ワクチン接種状況では、65歳以上の中等症Ⅱ以上の人は、県の65歳以上全体と比べて、未接種者(0回接種)が多く(25%対6%)、5回以上接種者が少なかった(43%対68%)。
5. コロナ罹患前の日常生活自立度は、何らかの活動制限のある人(パフォーマンス・ステータス1以上の人)が、34人で85%を占めた。
6. 重症化リスクが懸念され、ワクチン接種が勧奨される基礎疾患等は、2人を除いて有しており、上位3疾患は、心疾患(高血圧を含む)20人(5割)、呼吸器疾患11人(約3割)、糖尿病8人(2割)、次いで、腎疾患(人工透析を含む)、免疫機能の低下する治療中、脳梗塞が各5人であった。
7. 5類感染症移行後の新型コロナウイルス感染症も、重症化する人の大部分は、基礎疾患のある高齢者で、ワクチン接種回数の少ない人の割合が多い傾向にあり、基礎疾患のある高齢者に対する接種の重要性は変わらず、接種勧奨も引き続き必要と考えられた。